# 面接準備　明治大学

**志望動機：**

1．なぜ、うちの大学院で研究したいのですか。

私は貴学の社会学研究科を志望する理由は以下の通りである。

貴学のマスコミに関する教育が充実し、研究範囲が広くしており、国際性が高いので世界の色んな人との交流ができ自分の視野を広げると思います。

また、貴学の江下先生はコミュニケーション行動の社会史的研究とサブカルチャの史的研究を展開してことが分かりました。私は江下先生の研究内容に非常に興味を抱き、先生のご指導の下で研究を行いたいです。

機会があれば、ぜひこのような環境で勉強や研究をしたいと思います。

2．なぜ、○○先生の下で、研究したいのですか。

江下　雅之先生はコミュニケーション行動の社会史的研究と、サブカルチャーの史的研究を展開していることが分かります。先生の論文を拝見してたくさん勉強になり、啓発を受けた。私は時には、動画共用サービスで投稿し、広告主から依頼を受けて商品を紹介した経験が少しある。その経験によってソーシャルメディアのメディアコミュニケーションに興味があり、もし江下先生のご指導の下で研究を行い、理論や方法について先生と交流する可能であれば、研究は進捗すると思っています。

3．どこから江下先生を知りましたか。/江下先生のことをどのように知りましたか。

　　　はい、明治大学のホームページから先生のことを知りました。

**研究計画書：**

1. 研究計画書の内容を説明してください。
2. なぜ、この研究をしたいのですか。/そのテーマを研究するきっかけは何ですか。/そもそも、なぜそのテーマに関心を持ったのですか。

留学の時から、動画共有サイトで様々な動画を投稿し始めました。優秀な投稿者の動画を参考したり、毎回投稿の内容や表現方法を考えたりしていました。今ではチャンネル登録数が多くはないですが、広告主から依頼を受けて商品を紹介した経験も少し有ります。

その広告を配信する経験によって一つのことに気づきました。インターネットの発展に伴い、ソーシャルメディアは双方向のコミュニケーションを取れるようになりましたが、YouTuberの動画広告も双方向のコミュニケーションになりました。つまり、YouTuberが配信した動画広告は、単一方向的に視聴者に影響を与えるのでなく、視聴者の評価や動画の視聴率もYouTuberの動画広告の配信に影響を及ぼしていると思っております。

3．この研究で一番難しいところは何ですか。

　　インタビュー調査を受けてもらうYouTuberの発言は本研究の仮説が変える可能性があるとことだと思います。

5．先行研究に対して、あなたの研究が優位・特別な点は何ですか。

　　　インターネットで双方向性のコミュニケーションが取れるため、送り手は一方的に視聴者に影響を与えるのではなく、視聴者の変化によって影響を及ぼされているところを着目するのが本研究のオリジナルだと思います。

6．インタービューやアンケート調査が研究に役立てられることは何ですか。

　　　視聴者の状況の分析を通して、Youtuber動画広告である送り手に及ぼされる影響を明らかにするようになれると思います。

7．消費者をaとbという二つのタイプに分ける理由を聞かせてください。

　　　広告の送り手と受け手の声を聞くのが同じ重要です。

　　　受け手の状況の分析を通して、送り手に及ぼされる影響を明らかにするようになれると思います。

8．他の場面でアンケート調査をやるつもりはないですか。

　　　送り手にもアンケート調査を受けてもらうと思っています。

9．○○業界についてどれくらい知っていますか。

　　　広報業界――広報は「企業と社会の良好な関係の構築」を目的に、社会全体を対象とした宣伝活動を行います。企業の認知度向上やブランディングのため、広告物の制作やイベントの企画運営、メディアを通じた情報発信など幅広い業務を担当します。

10．どんな研究方法を使うつもりですか。

　アンケート調査とインタビュー調査を使うつもりです。

11．仮説の根拠を教えてもらえますか。

12．○○社を例として挙げた理由は何ですか。

**学部の勉強と卒業研究：**

1. 学部ではどの分野について勉強されていましたか。

大学は日本語を専攻していました。または、大学４年生の時に広島大学で日本語教育を専攻としていました。

1. 学部と違う分野を大学院で研究したいのはなぜですか。

大学は日本語を専攻していましたが、日本語以外の専門知識を身に付くことが大切だと思います。そして、留学生時代から私的時間に動画共有サイトで様々な動画を投稿し始めました。毎回投稿の内容や表現方法を考えたり、優秀な投稿者の動画を参考したりして、メディアに強い興味を抱きました。そのため、今の自分を乗り越え、大学院に進学し、思考を深められ、専門的に研究したいと思います。

1. 学部の卒業論文のタイトルを教えてください。

『日本語の「配慮表現」における「和」の文化』というタイトルです。

1. 学部の卒業論文の内容を説明してください。

　日本人の自然会話に思わずに使用した日本語の「配慮表現」における、表された「和」の文化を考察した。

1. 卒業論文を書くにあたり、苦労されたことはありますか。

はい。日本語の「配慮表現」を分析するために、日本人の自然会話データの収集と分析ということです。（当時の指導先生は助けてもらいました。広島大学の志願学生たちに会話させてもらって、録音してデータを分析していました。）

1. あなたにとって、専攻を変える際に一番難しい・困ったことは何ですか。

　専門知識を体系的に学び始めたときには、日本語の書籍を理解することが難しかったと思います。分からなかった知識を理解するように、母語の関連書籍を参考していました。

1. 学部で履修した科目や授業を教えてください。

総合日本語、日本社会文学、日本歴史、大学英語、メディア技術と社会

8．卒業論文からわかったことは何ですか。

　　卒業論文の結論　＋　研究成果については、客観条件と研究が要する時間を事前に考えなければなりません。

**社会人経験：**

1. どうして職を離れてまで大学院へ行くのですか。

私は職を離れて大学へ行く理由が二つあります。

　　1つは、大学院で優秀な教授の指導を受け、広い視野からより詳しく、深みのある知識を授けると思います。高度に発達した知識社会において、高い専門知識や研究方法を習得し自信がつきたいです。

もう一つは、自分のやりたいことをやりたい時にできるのが大学院の魅力の一つであると思います。今は会社員ですが、留学生時代から私的時間に動画共有サイトで様々な動画を投稿し始めました。毎回投稿の内容や表現方法を考えたり、優秀な投稿者の動画を参考したりして、メディアの面白さを見つけました。そのため、今の自分を乗り越え、大学院に進学し、思考を深められ、専門的に研究すると思いました。

1. 社会人の経験が大学院の研究に役立つことは何ですか。

社会人の経験によって、計画を立つ、物事を全体的に考え、責任感が身に付くことやチーム協力の大切さなどを学びました。そのようなことは今後の研究が進めるのに役を立つと思います。

**基本能力：**

1. 英語の文献を扱えますか。

はい。

2．文献はどの程度読んでいますか。

　　先行文献の要約を把握してから、先行文献の問題意識、仮説や研究方法及び結論を着目し、先行研究の不足や感想をメモします。

1. 専門的な知識はどの程度ありますか。

メディアに関する基本的な専門知識を持っています。

1. 統計学の経験はありますか。

残念ながら、統計学の経験はありませんが、統計学の基礎知識を少しべんきょうしたことがあります。または学生時代に数学が得意で、今の仕事について数学の知識がよく使っています。それらの経験によって、統計学を勉強する基礎力は備わっていると思います。入学が可能であれば、研究を進めるためにしっかり統計学を学びたいと思います。

**これからの計画：**

1. 大学院を終了したら、どうする予定ですか。

はい、大学院で培った専門知識や研究方法を活用し、物事を深く考える力を身につけ、日本でPR会社に就職し広報業務を担当したいと考えています。

2．大学院に入って、経済的に大丈夫ですか。

　　はい、大丈夫です。社会人になってお金を稼げました。そして、母親からの学費応援があります。

**生活・その他：**

1. ○○さんは日本に来てどれくらいになるんですか。

2018年10月に広島大学に留学してから、今まで日本に来て2年以上になりました。

1. じゃあ、日本語は学校で勉強しているんですか。

はい、私は大学で日本語を専攻していました。

1. 日本の生活はもう慣れましたか。

確かに日本に来たばかりの頃は、慣れないことが多かったのですが、親切な人たちにたくさん助けてもらっていたので、だんだん慣れてきて、日本での生活が楽しくなりました。

1. 国にはよく帰るんですか。

一般的には、年一回帰ります。去年は新型コロナで帰りませんでした。

1. 大学時代に何か活動はしていましたか。

私は異文化の人たちとコミュニケーションをとることが好きで、日本語の練習もしたいと思い、大学２年生の後期から，一年間日本人に中国語を教えていました。その後、学校と広島大学との留学プログラムを参加し、１０ヶ月間の日本留学生活を送りました。

1. 大学生活で印象に残ったことは何ですか。

はい、中国遼寧省のダンス試合です。大学２年生の時には、部活の友人たちと一緒に練習して中国遼寧省のダンス試合で優勝しました。準備段階では部員たちのレベルや練習ペースが違い、全体練習が出来ならず衝突しそうになったこともありましたが、話し合って乗り越え、試合の当日は大成功しました。１つのものを協力して頑張る楽しさや、相手の気持ちを思いやることの大切さを学びました。

1. 日本語を勉強する際に困ったことは教えてもらえますか。

はい、言いたいことと相手が理解していることが違うというところだと思います。それは、中国式の考え方や言い方を使ったからかもしれないと思います。第二言語の習得には単語や文法だけではなく、その言語独特の発想方法や表現方法もあわせて学ぶことが大切だと思います。（→体がいいですか）

補充問題

自己紹介：

初めはして、カク　トウトウ と申します。受験番号は〇〇です。私は2019年６月に大学を卒業して、同年の８月から名古屋で仕事し始めました。今は三菱関係会社の社員です。

1. YouTubeとは、グーグルが提供される世界最大の動画共有サービスです。YouTubeでユーザたちが自ら情報発信することができます。現在、YouTubeはサブカルチャーの広まり方として特に若者へ与える影響が大きいです。
2. サブカルチャー：日本ではマイナーな趣味や価値観など、伝統の反対にある文化のことをまとめてサブカルチャーとしています。
3. YouTuberとは、YouTubeへ自作の動画作品を投稿する人を指します。

また、YouTuberはYouTubeで投稿した動画（の総再生時間やチャンネル登録数など）の条件を満たし審査を受けると広告収入を受け取ることができます。

1. タイアップ動画とは、YouTuberに商品や媒介を紹介してもらうプロモーション手法のことです。
2. YouTuber動画広告とテレビ広告や新聞広告などの「マス広告」との区別

利用媒体；マスメディア　＜―＞　PC端、移動端

主な受け手；主婦、お年寄り　＜―＞　若い人

内容：伝統式　　　　　　　　　　動画の内容と合わせる

ブランディングが重視する　商品やサービスの紹介

結果（H0W）:単に一方向、範囲、速度、効果を把握するのが難しい

　　　　　　双方向、範囲、速度、効果の把握ができる

1. なんで受け手にアンケート調査